

さかもと

# あそびあそび 体験手帖

この冊子は、平成24年度地域づくり“チャレンジ”推進事業の補助によって作成されました。



悠久の時間が流れる

# さかもと

かつて肥後と呼ばれ、

『延喜式』での格は大国の熊本。

その南部の中心都市八代市の南東一円を占めるのが

坂本町(旧坂本村)です。

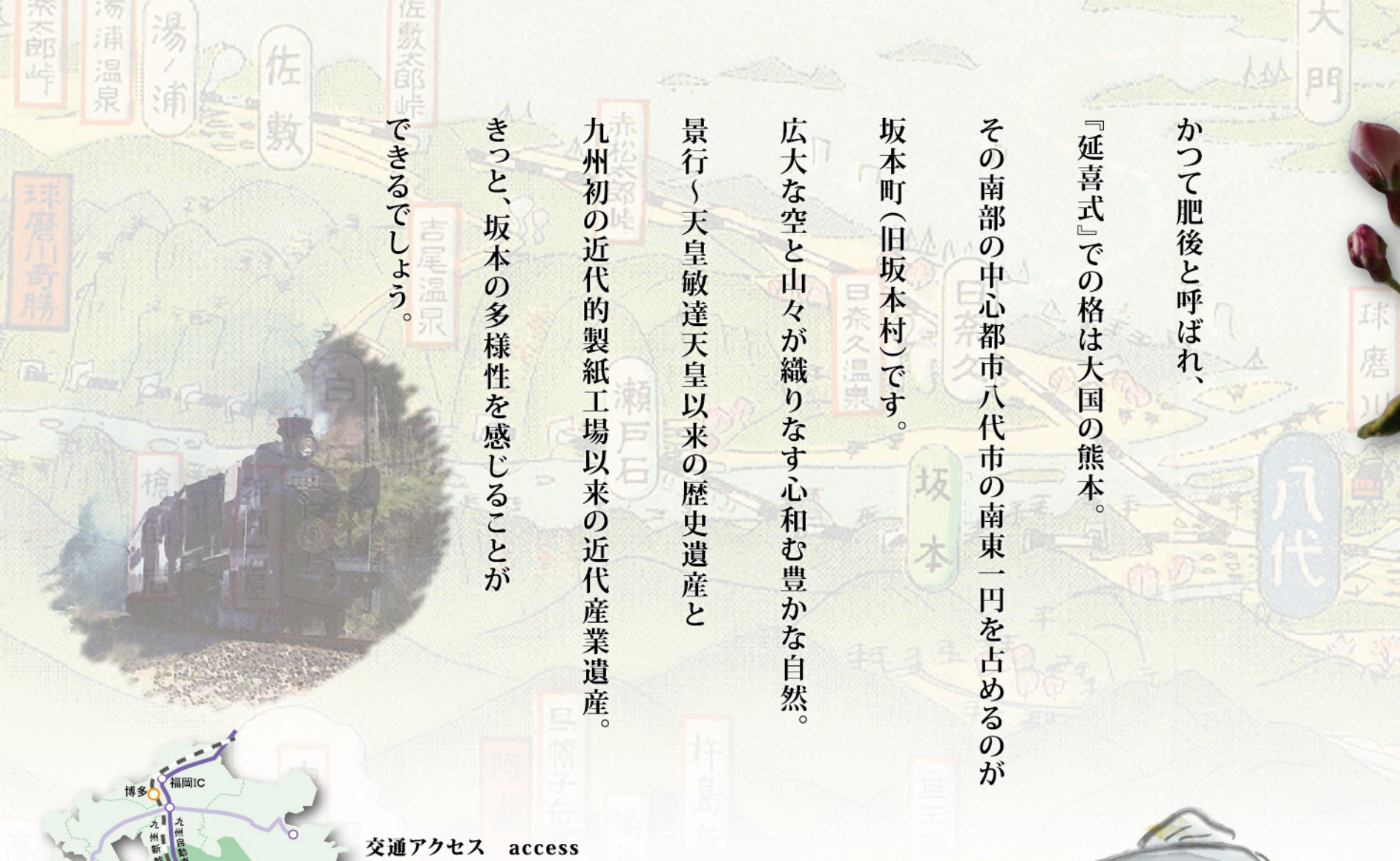
広大な空と山々が織りなす心む豊かな自然。

景行く天皇敏達天皇以来の歴史遺産と

九州初の近代的製紙工場以来の近代産業遺産。

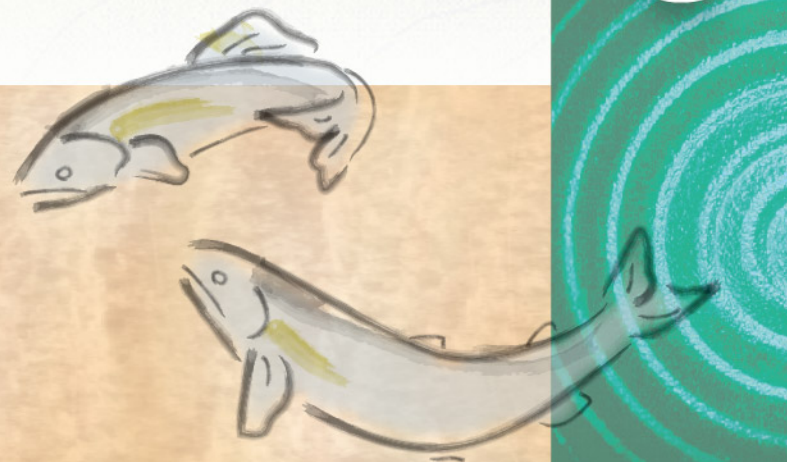
きっと、坂本の多様性を感じることが

できるでしょう。



## 交通アクセス access

- 【自動車】  
八代I.Cまで(九州自動車道)  
・福岡インター(約120分)  
・熊本インター(約40分)  
・鹿児島インター(約120分)  
八代I.CからJR肥薩線段駅まで車で約10分(p17-18 探索地図もご参考ください)
- 【新幹線】  
新八代駅までの所要時間  
・博多駅(約52分)  
・熊本駅(約12分)  
・鹿児島中央駅(約34分)
- 【飛行機】  
阿蘇くまもと空港よりシャトルバスで、新八代駅まで約50分



# 自然

## その地形と四季

坂本町は町内を日本三大急流の一つ、球磨川により河南、河北に二分されており、右岸左岸とも多くの支流が流れ込んでいます。東西南北を標高二百メートルから千メートルの山々や峠に囲まれ、唯一球磨川沿いだけが西に向かって開いています。山は八竜山(四百九十八メートル)、八峰山(五百七十四メートル)、米の窪(六百七十三メートル)、国見山(九百八十一メートル)などがそびえ、集落は川の流域や日当たりのよい山の傾斜地にその多くがあります。

現JR肥薩線や国道が整備されるまでは、球磨川沿いは険峻な難路であり、鳥越、久多良木越、矢筈越、冷水峠、国見峠、水

無峠、肥後峠、河内谷越、番立峠、小屋谷峠、杵原越、上宮越が重要視されていましたが、いずれも幾多の山嶺を通る険しい山道でした。

町総面積の八十九%余りが山林・原野で、耕作地は三%余りにすぎないが、日光の棚田に代表されるように、多くの棚田が残る美しい山村集落を形成しています。しかし、熊本県下でも坂本町は、熊本県第一の高齢過疎化地域です。この数年で美しい棚田も荒れはじめっており、このままでは、町自体の維持が困難なる状況は近い将来訪れてきます。

次世代へと繋がるように、多くの方がさかもとに訪れ、四季折々の美しい山里の自然に触れて頂きたいものです。



春の球磨川沿いは格好のお花見スポット。



坂本町にもホタルはいます。



四季折々の草花が迎えてくれます。(球磨川沿いの藤)



この写真の走水滝をはじめ、数箇所滝がありますが、難所にありますのでちよつと危険。



このトンネルの上には、はるか昔海の底だった証が残っているらしい。



薬師堂の銀木犀

# 球磨川と岩の伝説

鬼の岩	鬼飛死所岩
石丸の石	鉄漿付け岩
大平の鏡岩	お経岩
御前岩	音松岩

JR肥薩線(ひさつせん)は、日本三大急流の一つ、球磨川の美しい流れに沿って八代市から人吉市方面へ続いているため、坂本内を縦断している事になります。肥薩線(ひさつせん)の車窓からは球磨川に数多くの巨石を見ることが出来ます。その巨石のなかには伝説が残るものも多く、その一つに鉄漿付け岩(かねつけいわ)と呼ばれる大きな岩があります。段駅と坂本駅の間、坂本町の中心部の入り口、中谷橋の少し下流の国道219号線沿い左岸に位置し、この岩は、わくわく体験ツアー(16ページ参照)のコースからも見ることが出来ます。岩にまつわる悲しい伝説をご紹介します。

## 鉄漿付け岩の伝説

この岩のすぐ横に小高い山があります。この山を瀬高山といい、瀬高という集落もあります。また、この付近一帯を「城の平」と呼び、瀬高山の山頂付近には、戦国時代の瀬高城があったと伝えられています。この瀬高城の落城にまつわる話です。

戦国時代、瀬高城は敵陣に攻め込まれてしまいました。瀬高城落城の折き、城を逃れ出た女たちは、木の間の隠れ道を球磨川端のこの岩までたどり着きました。

そこで、後方の瀬高城を見れば、黒煙に包まれ、落城寸前の様子です。その時、もつこれまでと思った女たちは、追っ手に捕らわれ、辱

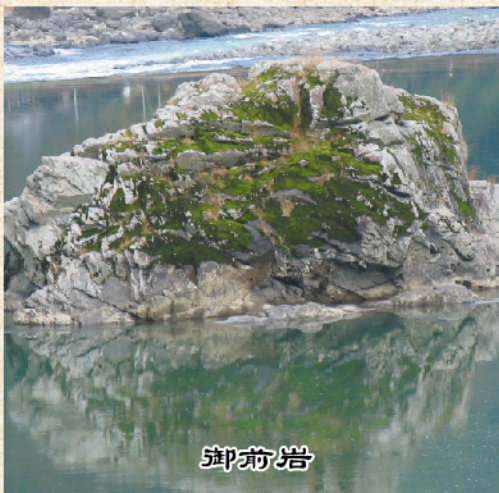
めを受けるよりも球磨川の流れに身を沈め、武門の面目を全うしようとする集まりました。醜い姿を敵に見せて笑われぬようにと、鉄漿(お菌黒のこと)を黒々と染め、その上薄化粧までして、深い球磨川の流れに飛び込み自らの身を絶ってしまいました。このため、この岩を鉄漿付け岩と呼んでいるのです。

※この岩石は、花こう岩と呼ばれる岩石でできています。この花こう岩は、黒瀬川構造帯を構成する岩石のひとつで、変麻岩や蛇紋岩などの岩石とともにレンズ状に分布しています。

(参考文献：熊本県庁サイト内 地域発心のさと自然と文化)



鉄漿付け岩



御前岩



音松岩

# 歴史と伝承

## 百済と平家落人

百済とさかめと

昨今の韓流ブームで、朝鮮半島にかつて存在した百済という国をご存知の方も多いと思います。

六百六十年(斉明天皇六年)、新羅からの救援要請を受けて唐が軍を起し、同年に唐・新羅連合軍の攻撃によって百済は攻め滅ぼされましたが、百済王の太子豊璋王が倭国に滞在していたなど、古くから百済と倭国の関係は深く、ついに六百六十二年(天智二年)八月に朝鮮半島の白村江(現在の錦江近郊)で行われた、倭国・百済遺民の連合軍と、唐・新羅連合軍(羅唐同盟)との間の、海と陸の戦で決着がつくこととなります。

さかもとも、百済とは無縁ではなく、葦北国造刑部朝部阿利斯登

(おさかへのゆけひありしと)の子で宣化天皇の時代、百済で達率という高官となり、また敏達天皇に招かれた刑部日羅公の墓とされるものやゆかりの地蔵などが域内にあります。

吉田東伍著「大日本千地名辞書」には、「今百済村と云ふ、また久多良木に、今百済村と云ふ、また久多良馬場地蔵堂は、日羅墓と録し、以下省略」の記述もみられます。

村史編纂委員会での二年余にわたる調査でも鎌倉期に属すると断定できる遺跡・遺物は発見・発掘できていませんが、伝承として平家落人が村落を作ったと伝える地域が三箇所あります。その村落形成時期も不明で

「夜狩俣村」夜狩俣村は「伝重森」

### 平家落人伝承を持つ村々

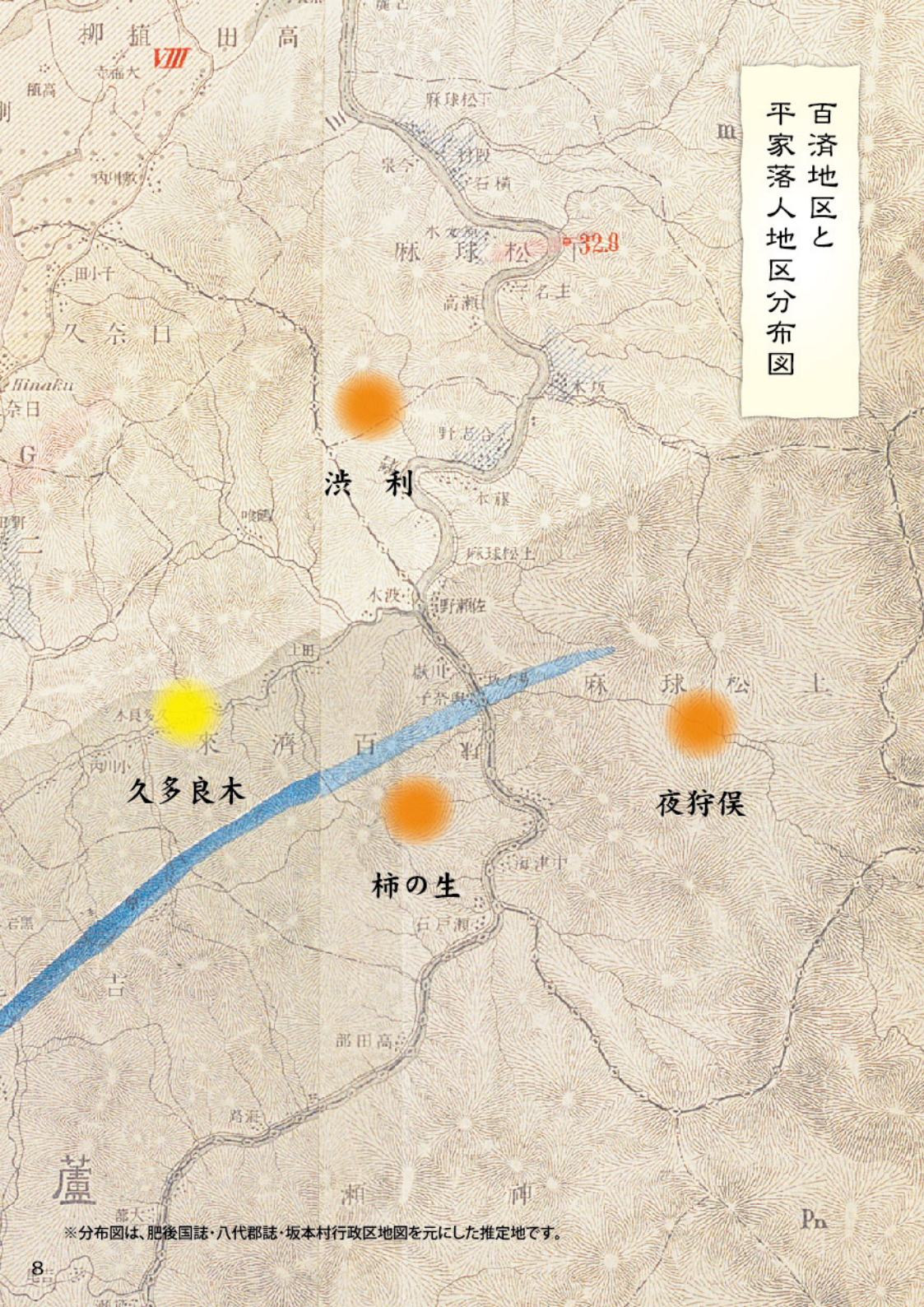
【夜狩俣村】夜狩俣村は「伝重森」「小兵ノ園」「コケの前」の三村を合わせた名称で、江戸中期鎌瀬村と合流したとされています。肥後国誌に「夜狩俣村ハ鎌瀬村ヨリ山徑二里ハカリ深谷也、昔時、平家ノ落人此谷ニ潜レテヨリ、人家アリト云ウ以下省略」

すが、地形的には山中の山中といつてよい地域です。

【柿の生】戦後全戸が流出し現在一戸も残っていないが、戦前は十八戸あり全戸が小松姓であり、平清盛の嫡男、小松内大臣平重盛の末裔と称していたとそうです。集落の痕跡が少々残っています。

【洪利】八竜山天文台への入口の集落です。洪利地区を一望できる山中に「平家城」という地区名が残存しています。

【久多良木】久多良木は「伝重森」



百済地区と平家落人地区分布図

※分布図は、肥後国誌・八代郡誌・坂本村行政区地図を元にした推定地です。

# 産業遺産

自然に抱かれて

かつての坂本の産業として欠かす事のできないのは球磨川舟運です。瀬戸石・荒瀬ダムによりその歴史に幕がおりましたが、尋常高等小学校読本に「本村より球磨川を奪えば後にも残らずと云ふも過言にあらず、総ての精神文化も物質文明も、将又凡ゆる物資・物産も、球磨川によりて輸入され、又輸出さるるなり」と記されおり(坂本村史：四百十二頁)、坂本にとって舟運は重要な産業でした。

現在の「球磨川下り」で用いる操船技術も、この舟運の発達によるものです。二七九〇年の記録にも、鼻楫(はなかじ：球磨川下りは船首の船頭が鼻楫を操作し船尾の艦張(ともはり)が櫓を漕ぎながら操船します)の記録が

あります。

坂本では、古くから舟運が発達し、何百艘もの舟が運行されており、八代〜人吉間を往来する船頭も多く、一部は大淀川や筑後川上流の舟運開発指導者として招かれ、それらの地域発展に貢献した人々もいたそうです。

そして、今に残る坂本の産業遺産といえば発電所群でしょう。いまだに大多数多くの発電所や発電所跡が存在しており、その、村財政に貢献した度合いは計り知れないものがあります。

熊本県企業局の藤本発電所など発電業者用も一部ありますが、その多くは西日本製紙や日本窒素など近代日本を支えた企業用の発電所です。

また、高さ六十四メートル頂長

二百メートルの珍しい巨大な中央土質遮水型ロックフィル式ダムや、国内初の取り壊して注目の荒瀬ダムもあります。

更に鉄道関係として、有名な球磨川第一橋梁を始め数々の煉瓦造りのトンネル、TVアニメ夏目友人帳「心色の切符」に出てくる森口駅モデルとして使われた瀬戸石駅等が点在します。行楽シーズンにはSも走り、紅葉は無論、藤や桜など四季折々の顔をみせる自然とあいまって、様々な球磨川沿岸沿いを楽しめます。



西日本製紙跡



油谷ダム



今も残る石橋



球磨川第一橋りょう



瀬渡し場跡

# たづもの文化

〜ふるさとを味わう〜

さかもとで日常的に米が食べられるようになったのは戦後のことです。それでも暫くは、三穀飯（サンゴクメシ）と呼ばれる雑穀飯を食べていた時期が続きまし  
た。三穀飯の平均的な配合割合は麦六・粟二・米二であり、これに唐芋や里芋を入れることも多かったそうです。

今でも、山と川に抱かれた自然の恵み豊かなさかもとでは、山菜は豊富にとれ、球磨川水系では、鯉、鮒、ハヤ、鯰、鰻、ダクマエビ、ドグラ、カマカツなど多くの魚が獲れます。球磨川の尺鮎で有名な鮎は以前より漁獲高は減少しましたが、今でも貴重な現金収入となっています。

また、上海蟹（チュウゴクモクズガニ）の同属異種の川蟹（モズ



鮎舟当



モズク蟹



ふるさとの恵み定食



かずら豆腐

クガニも獲れ、これは、近年上海への輸出実績もあります。鮎と同じく、わくわく体験でも昼食や夕食などでご堪能頂けます。  
このほか特産品として、かずら豆腐やコンニャクなどの加工食品も知られています。特にコンニャクは、上鎌瀬地区では旧暦九月十



久多良木にあった鍋▲

八日の祭りの前日、地藏堂の前に焚き火がたかれ、大鍋を掛け、この鍋肴に集まって地区の人々が共同飲食をします。中にはコンニャク、皮鯨、唐芋をいれて、コンニャクは包丁で切るのではなく手でちぎって入れます。青年団活動が盛んだった頃は、わざと唐辛子を大量に入れて楽しんでいました。





木工細工

わくわく体験  
ワークショップ



イカダ作り



草木染め



かずらリース細工



イカダ下り



チューブで川下り

わくわく体験 ~ 川と触れ合う ~



水鉄砲遊び



竹渡り競争



# わくわく体験

ウォーキング



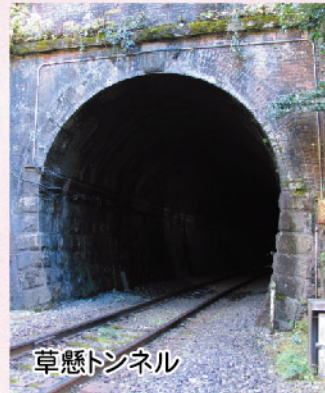
坂本駅



深水発電所



内谷第二発電所と高除トンネル



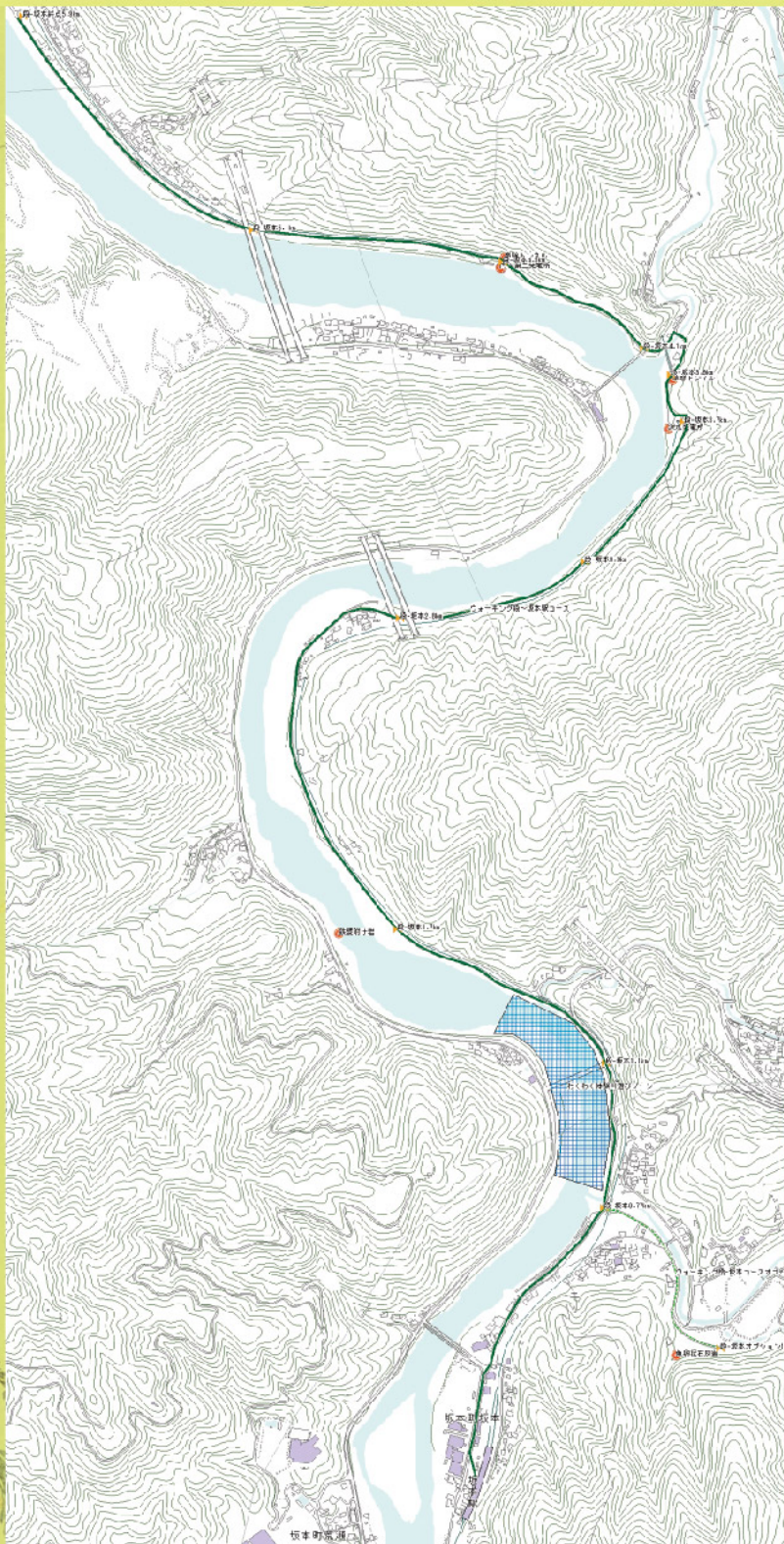
草懸トンネル



球磨川風景



コンクリートガードレール



## わくわく体験ツアーのご案内

### ■わくわく体験ツアー「川遊びプラン」

- 【一日目】新八代駅↓送迎バス↓中谷橋(川遊会場)↓川遊びと昼食(バーベキュー)↓送迎バス↓温泉と夕食(クレオン)↓送迎バス↓舟宿森屋(宿泊)
- 【二日目】川漁体験と食事↓新八代駅

### ■わくわく体験ツアー「標準プラン」

- 【一日目】森屋駐車場集合↓遺産ウォーキング↓坂本駅↓送迎バス↓昼食(さかもと道の駅)↓大平発電所、油谷ダムの見学↓温泉、夕食↓舟宿森屋(宿泊)
- 【二日目】食の体験と食事↓解散

時間に追われる生活から離れ、癒しや自分を見つめ直すひとときをさかもとで体験してみませんか？

### お問い合わせ

NPO SSP

(さかもと再生プロジェクト)

熊本県八代市坂本町西部1-2858

電話: 0965-45-3406

(平日10:00~17:00)

熊本方面 ↖



● 内谷第一発電所

● 走水滝

● 八代IC

● 大平発電所

● 鮎婦発電所

● 油谷ダム

● 薬師堂の銀木扉

● 内谷第二発電所と高除トンネル

● 深水発電所と草懸トンネル

● 球磨川

● 球磨川河川緑地公園

● 宮松トンネル

● 古田阿蘇神社

● くま川ワイワイパーク

● 坂本の魚卵状石灰岩

● 鉄漿付け岩

● 八竜山

● 藤本発電所

● 藤本五所神社

● 大門山の褶曲

● 荒瀬ダム

● 道の駅坂本

● 八代南IC

● 球磨川第一橋梁

● さかもと温泉センタークレオン

● 中津道阿蘇の宮

● 音松岩

● 瀬戸石駅

● 御前岩

人吉方面 ↓

● 久多良木神社

● 日羅公の墓と百済木地蔵堂



# さかもと 探索地図

- … 自然
- … 神社・仏閣
- … 産業遺産